令和7年度町単独駕敷野外活動センターほか電気設備等移設工事　仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工　事　場　所　　徳島県那珂郡那賀町百合字松の木170番地、178番地
2．建　物　概　要

建物名称	構　造	階　数	建築基準法による延べ面積（ｍ２）	消防法施行令別表第一の区分	備　考
B＆G海洋センター	鉄筋コンクリート造	地上２階	1,785.66	１５項	
体育館棟					
野外活動センター	木造	地上２階	658.17	１５項　（５項）	
研修所棟					

3．工　事　種　目　　●印の付いたものを適用する）

科　目	野外活動センター						屋　外
●空気調和設備	改修一式						
・換気設備							
・排煙設備							
・自動制御設備							
・衛生器具設備							
●給水設備	改修一式						
・排水設備							
●給湯設備（油配管）	改修一式						
・消火設備							
・ガス設備							
・雨水利用設備							
・厨房設備							
・浄化槽設備							
●電気設備工事	電気設備工事の部による						
●建築工事	建築工事の部による						

4．指　定　部　分　　●無し　・有り　　対象部分　：令和　　年　　月　　日
　　指定部分工期：令和　　年　　月　　日

5．設　備　概　要　（工事後の概要を示すものでも、仕様を規定するものでもない）

空気調和設備	空調方式	
	・中央方式　（・単一ダクト方式　・各階ユニット方式　・ファンコイルユニット、ダクト併用方式）	
	●個別方式　●パッケージユニット方式　・パッケージユニット、ダクト併用方式）	
	主要熱源機器	
	・鋼製ボイラー　・鋳鉄製ボイラー　・温水発生機（・真空式　・無圧式）	
	・チリングユニット　・吸収冷温水機　●空気熱源ヒートポンプユニット　・氷蓄熱ユニット	
	・パッケージ形空気調和機　・ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機）	
排煙設備	機械排煙　・有り（・建基法　・消防法）　・無し	
自動制御設備	制御方式　（・電気式　・電子式　・デジタル式）	
給水設備	給水方式　（・水道直結方式　・高置タンク方式　・ポンプ直送方式　・水道直結増圧方式）	
排水設備	建物内の汚水と雑排水（　・　合流　・　分流　）	
	ポンプ排水　・有り（・汚水　・雑排水　・湧水　・雨水）　・無し	
	放流先　汚　水　（・直放流下水管　・浄化槽　・敷地内最終処理施設）	
	雑排水　（・直放流下水管　・浄化槽　・敷地内最終処理施設　・別途例）	
給湯設備	・有り　（・局所式　・中央式）　・無し	
	熱源　（・電気　・都市ガス　・液化石油ガス　・灯油　・ＡＬ重油）	
消火設備	・屋内消火栓　・連結送水管　・屋外消火栓　・スプリンクラー　・粉末消火	
	・泡消火　・連結散水　・フード等用間易自動消火装置　・消防用水	
	・不活性ガス消火（・不活性ガス　・二酸化炭素）・ハロゲン化物消火	
ガス設備	・都市ガス　種別（　　ＭＪ／ｍ３・Ｎ）　・液化石油ガス	
浄化槽設備	・有り　（・合併処理　・単独）　・無し	

Ⅱ．工　事　仕　様

1．共　通　仕　様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の標準仕様書等による。ただし、○印の付いたものを適用する。
　●「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和７年版）（以下、「標準仕様書」という）
　●「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和７年版）（以下、「改修標準仕様書」という）
　●「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和７年版）（以下、「標準図」という）
2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特　記　仕　様

1）項目は●印の付いたものを適用する。
2）特記事項のうち選択する事項は●印の付いたものを適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。●印、●印の場合は両方を適用する。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	●環境への配慮	1）国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成３１年２月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③　接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④　上記（1）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 第三種 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	●機材の品質等	1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
	●官公署その他への手続き	関係官公署その他の関係機関への手続きなどの費用は受注者の負担とする。
	●電気保安技術者	適用する
	●施工調査	事前調査　調査項目（施工に先立ち、改修工事関連部分の事前調査を行い監督職員に報告書を提出する）
	●足場その他	本工事で設置する。 ●内部足場等（・Ａ種　・　種）　●外部足場等（・Ｂ種　・　種　・　種） 足場を設ける場合、改修標準仕様書２．２．１によるほか、「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。
	●工事用電力、水その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用は、すべて受注者の負担とする。
	・養生	既存部分の養生は、改修標準仕様書第１編３章による。

●容量等の表示　　1）機器類の能力、容量等は原則として表示された数値以上とする。
2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●図形表示　　図示する形状、配管の取出し位置等により、特定製造者の製品を指示、限定しない。

●機材の承諾図　　「機械設備工事機材承諾図様式集　平成２８年版」によるほか、監督職員の指示による。

●総合調整　　下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定箇所等は監督職員の指示による。）
●風量調整　・水量調整　●室内外空気の温湿度の測定　●騒音の測定
・室内気流及びじんあいの測定　●飲料水の水質の測定　・雑用水の水質の測定

●天井仕上区分　　図中（　）書きの室名はスラブ天井を示し、その他は二重天井を示す。

●地工事との工事区分　　図面に特記なき場合は、工事区分表による。

●耐震措置　　設備機器等の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。
1）建物の種別　（・特定の施設　・一般の施設）
2）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用標準水平震度は次表による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	●指定の施設 重要機器	●指定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上　層　階	機　　器	２．０	１．５	１．５	１．０
屋上及び塔屋	防振支持の機器	２．０	２．０	２．０	１．５
	水　槽　類	２．０	１．５	１．５	１．０
中　間　階	機　　器	１．５	１．０	１．０	０．６
	防振支持の機器	１．５	１．５	１．５	１．０
	水　槽　類	１．５	１．０	１．０	０．６
地階●１階	機　　器	１．０	０．６	０．６	０．４
	防振支持の機器	１．０	１．０	１．０	０．６
	水　槽　類	１．５	１．０	１．０	０．６

注）上層階とは、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。
中間階とは、地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・給水機器（　　）・排水機器（　　）・換気機器　・空調機器
・熱源機器　・防災設備　・監視制御設備　・危険物貯蔵装置　・火を使用する設備
・避難経路上の設置する機器

3）設計用地震地震力は設計水平地震力の１／２とする。

●配管　　1）ステンレス鋼管の接合方法
呼び径６０Ｓｕ以下の継手はＳＡＳ３２２による拡管とする。
2）建築物導入部の変位吸収方法は、下記による。
給水配管：標準図（施工４、５・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。
・屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口桝　標準図（機材６　ⅠＣ-１）を設け、変位吸収余長をとる。
ガス配管：標準図（施工４、５・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。
・屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口桝　標準図（機材６　ⅠＣ-１）を設け、変位吸収余長をとる。
油配管：標準図（施工４、５・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。
3）溶接部の非破壊検査
※不要　●要（・放射線透過検査　・浸透探査検査または磁粉探傷検査）
抜取率　・標準仕様書による　・＿＿＿％

●支持金物、固定金具　　ポンプ及び屋外設置機器・ピット内のアンカーボルト、ナット類はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製（ＳＵＳ３０４）または、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
溶融亜鉛めっきは（※２種３５　・２種５０）とする。

・防振継手　※合成ゴム製　・ベローズ形
・伸縮管継手　※ベローズ形　・スリーブ形
・弁類　ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径５０以下は青銅製、呼び径６５以上はステンレス製とする。
●埋設表示　標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。　（標準図（機材２））
●保温　　1）暖房熱源機器室内の配管の保温材で、ポリスチレンフォーム保温材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。
2）冷媒管の保温外装は下記による。
屋内露出　●合成樹脂製カバー［ａ１（イ・ロ）Ⅰ］
・保温化粧ケース（・耐候性樹脂製　・＿＿＿＿製）
屋外露出　●ステンレス鋼板［ｅ２（イ・ロ）Ⅰ］
・保温化粧ケース（・ステンレス鋼板製　・高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製
・耐候性樹脂製　・＿＿＿＿製）
・保温化粧ケースは上部を歩行できるものとする。
3）膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
4）建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
（エア抜き弁以降の配管は除く。）
5）空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．５の排水管の項による。
6）空調対象室部分（天井内含む）の外気取入れ用ダクトは、保温（２５mm厚）する。
7）厨房用排気ダクトの断熱（隠ぺい部）　・Ｉ（イ）Ｉ　又はｈ（イ）Ｉ　・行わない
8）共同溝内の保温種別は下記による。
ダクト：
配管：

・塗装　　下記の箇所の配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管及び支持金物の塗装を行う。
塗装箇所（　　）

●非破壊検査　　はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行い、監督職員に報告する。
放射線透過検査については監督職員の指示によるものとし、検査費は別途とする。

●既存躯体への穿孔　　穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を設けて埋込配線等の切断を避ける。

●建設発生土の処理　　※構内散きならし　・構内指定場所へのたい積
・構外に搬出し関係法令等に従い、適切に処理（施工条件明示）

●埋め戻し土、盛土　　※根切り土の中の良質土（コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類

●電線類　　電線及びケーブルは、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１によるほか、
製造者の標準仕様による。ＥＭ電線、ＥＭケーブルを選択するよう努める。

・鋼板製埋設標　　1）厚さ　　※３．２mm　・４．５mm
2）煤煙濃度計　・取付ける　・取付けない　・取付座を設ける
3）煤じん量測定口（８０mm×２）を　※設ける　・設けない

●オイルサービスタンク　　1）液面制御装置の機能は下記による。
・給油オイルポンプの起動、停止　・返油オイルポンプの起動、停止　・ポンプ緊急停止警報
・満油警報　・減油警報　・遠方警報接点　（・満油　・減油）
2）油面計はゲージ式（側圧式）とする。
3）返油オイルポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。

・油積算流量計　※設ける（図示した箇所に取付ける）　・設けない

・オイルタンク　　1）据付け方法　・鋼製強化プラスチック製二重殻タンク標準図（施工３０、３２）
・地下オイルタンク標準図（施工３１、３３）
2）鋼板製タンクの保護被覆は　※強化プラスチック　・エポキシ樹脂　・ウレタンエラストマー樹脂
3）遠隔油量指示装置［油面計は（・抵抗変化式　・磁歪式）で（・屋内　・屋外）より油量監視用］を取付ける。
4）鋼製強化プラスチック製二重殻タンクには漏えい検知設備を設置する。

●撤去工事　　1）撤去する配管、ダクト等の保温材は配管、ダクト等より分離する。
2）撤去する配管及びダクト等の支持金物・吊りボルト等は撤去する。

●石綿含有品　　石綿含有分析調査　●　本工事　・　別途
アスベスト含有設備資材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。

空気調和設備・換気設備

●設計用温湿度条件

	外気条件 温度（ＤＢ）	外気条件 湿度（ＷＢ）	室内（調整目標値）一般系統 温度（ＤＢ）	室内（調整目標値）一般系統 湿度（ＷＢ）	室内（調整目標値） 温度（ＤＢ）	室内（調整目標値） 湿度（ＷＢ）
夏季	２８．０℃	５０％	２８．０℃	５０％	℃	％
冬季	２０．０℃	４０％	２０．０℃	４０％	℃	％

●配管材料　　1）冷温水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
2）冷却水管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　・塩ビライニング鋼管　・ポリ粉体鋼管
3）空調用排水管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　●硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）（～３０Ａ）
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）（４０Ａ～）
・カラー硬質ポリ塩化ビニル管（カラーＶＰ）（屋外露出）
4）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）
5）蒸気給気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒管）
6）蒸気還管　※圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳＴＰＧ３７０　黒管　Ｓｃｈ４０）
7）油・油用通気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒管）
8）プライン管（氷蓄熱槽現場施工の場合）　※配管用炭素鋼鋼管（黒管）
9）冷媒管　※断熱材被覆鋼管　・銅管

・弁類　　1）図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。
2）ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往．還）には、ボール弁を取付ける。
また、ファンコイルユニットには、（※流量調整弁　・定流量弁）を設ける。

・温度計　　1）標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。
・空気調和機、全熱交換器廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト
2）機器付属以外の温度計は　※バイメタル式温度計　・ガード付きＬ形温度計

・瞬間流量計　　1）形状はピトー管方式（止水コック付）（固定式）とする。
2）下記の箇所、若しくは図示により取付ける。
・冷凍機類の冷水出口
・冷凍機類の冷却水出口
・ボイラー又は熱交換器の温水出口
・冷温水ヘッダーの各送り管
・ユニット形空気調和機の冷温水入口

・圧力計　　標準図によるほか図示した箇所に取付ける。

・吹出口、吸込口　　ボックスは、　※亜鉛鉄板製　・グラスウール製

・ダクト　　1）ダクト区分　※低圧ダクト　・高圧１ダクト（範囲は図示）　・高圧２ダクト（範囲は図示）
2）長方形ダクト工法　※コーナーボルト工法（共板フランジ工法又はスライドオンフランジ工法）
（ただし、長辺が１５００mm以下の部分とする。）
※アングルフランジ工法
3）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」を適用する。
4）ダクトの防火区画貫通部は標準図施工４０による。

・ダンパー　　1）防煙ダンパーは　※電気式　・空気式　　復帰機構は　※遠隔式　・手元式
2）電気式防煙ダンパーの動作用電圧、電流はＤＣ２４Ｖとする。

・チャンバー等　　1）線状吹出口には（長さ＋１００mm）×幅３００mm×高さ３００mmの接続チャンバーを設ける。
2）シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工４７）による。施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
3）外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は、雨水等の滞留のないように施工する。
4）吹出口接続チャンバーには清音内貼りをすること。
5）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は、外形寸法とする。
6）吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付ける。
点検口の大きさは、図面特記なき場合原則として４００mm×６００mmとする。

・ウェザーカバー　　材質（・ステンレス製）　塗装（・指定色塗装　・耐重塩害仕様）
付属品［・網・防火ダンパー（図示による）］　・別図による

・ベントキャップ　　材質（・ステンレス製）　形状（・深型　・丸形防風板覆い付）
塗装（・指定色塗装　・耐重塩害仕様指定色塗装）
付属品［・水切り　・ガラリ　・網　・防火ダンパー（図示による）］　・別図による

・グリス除去装置　　・グリスエクストラクター　・グリスフィルター

・定風量、変風量ユニット　　・メカニカル形　・風速センサー形

・冷温水管等の空気抜き　　1）空気溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜弁装置（※手動　・自動）を設ける。
2）自動エア抜弁装置は、標準図（施工３６（ｇ））による。
3）機械室の手動式空気抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より２mとする。

・冷却塔　　標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。

・水質基準　　空調用流体の水質基準については、日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。

●パッケージ形空気調和機（マルチ形、ルームエアコン、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機含む）　　1）冷媒管口径、電気配線サイズは製造者標準仕様とする。
2）屋内機、屋外機間の電気配線（アース共）は冷媒管と共巻きとする。
3）冷媒はオゾン層破壊係数０のものとする。
4）補助電気ヒーター又は加湿器を組込む場合は、送風機とインターロックする。

排煙設備

・ダクト　　※亜鉛鉄板製　・鋼板製（厚１．６mm）

・排煙口　　・パネル形（・天井取付　・壁取付）
・スリット形（・天井取付　・壁取付）
・ダンパー形（・天井内取付）

・排煙口開放及び復帰方式　　・手動及び電気式（遠隔操作　・要　・不要）　・手動式

・排煙風量測定　　建築設備定期検査業務基準書２０１６年版［（一財）日本建築設備・昇降機センター］の排煙風量の検査方法に準じる。

自動制御設備

・中央監視制御装置　　・有り（構成機能は図示による）　・無し

・電源装置　　・要　（　・本工事　・別途工事　）　・不要

・温度調節器等　　取付け高さ　※１３００mm　・＿＿＿＿mm

・電気計装用配線　　1）電線及びケーブルは、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１によるほか、
製造者の標準仕様による。ＥＭ電線、ＥＭケーブルを選択するよう努める。
2）屋外、屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
3）天井内隠ぺいの配線は図面の特記がなければケーブル配線とする。
屋外用キャビネットは下記による銅板製とする。

・自動制御盤　　屋外用キャビネットは下記による銅板製とする。

衛生器具設備

・標記板　　大便器、小便器には標記板を取付ける。

・小便器用節水装置　　図面に特記なき場合は、洗浄水量が４Ｌ／回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。
形式　※小便器一体型　・小便器分離型
方式　※個別感知の電源種別（※ＡＣ電源　・　　）

・自動水栓　　電源種別（※ＡＣ電源　・自己発電　・　　）

・大便器　　大便器の洗浄水量は６．５Ｌ／回以下とする。

・衛生器具と排水管接続　　※標準図（施工６３）　・標準図（施工６４）

・洗浄水（大便器　小便器）　　※上水　・中水（便器は中水仕様とする）

給水設備

・配管材料　　1）上水　一般配管　・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）（ＳＧＰ－ＦＶＡ）
土間配管　●水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ）
・ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）（ＳＧＰ－ＦＰＤ）
屋外埋設　・ポリエチレン管
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ）
・ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）（ＳＧＰ－ＦＰＤ）
2）雑用水　一般配管　・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）（ＳＧＰ－ＦＶＡ）
土間配管　・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ）
屋外埋設　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ）
3）ビニル管の接合方法　※接着接合
・ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする）
4）ポリエチレン管の接合方法　５０Ａ以下（※メカニカル接合　・電気融着接合）
７５Ａ以上　電気融着接合
5）特記なき給水管の最小管径は呼び径２０とする。

給湯設備

●配管材料　　油配管　一般配管　・配管用炭素鋼鋼管（黒管）

・弁類　　図面に特記なき場合の耐圧は下記による。
公営水道に直結する配管に使用するものは、１０Ｋとする。
受水タンク以降の配管に使用するものは、５Ｋとする。

排水設備

・配管材料　　1）屋内汚水管　・排水用塩ビライニング鋼管　・コーティング鋼管（ノンタールエポキシ）
・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・鉛管
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）
2）屋内雑排水管　・排水用塩ビライニング鋼管　・コーティング鋼管（ノンタールエポキシ）
・配管用炭素鋼鋼管（白管）　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・鉛管
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）
3）通気管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）
4）ポンプ排水管　・排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用ロとう継手）
5）屋外埋設排水管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル二層管（ＲＳ－ＶＵ）（歩道部分）
・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）（車道部分）
・コンクリート管（外圧管１種Ｂ形）
（車道部分　埋設深さが管上端より600mm未満の配管）
6）その他　湯沸流し等の床上露出部分、衛生器具接続部分はビニル管としてもよい。

消火設備

・配管材料　　1）屋内消火栓　一般配管　・配管用炭素鋼鋼管（白管）
地中埋設　・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）
2）連結送水管　一般配管　・圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）
地中埋設　・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ３７０－ＶＳ）

・消火栓開閉弁の耐圧　　※１０Ｋ　・１６Ｋ

・保温　　1）呼水タンクの保温　※施工しない　・施工する
2）充水タンクの保温　※施工しない　・施工する
3）消火配管の保温は次による。（屋外露出、寒冷地は保温種別ｅ２・ハ・Ⅶによる）
・屋内消火栓　※施工しない　・施工する
・スプリンクラー　※施工しない　・施工する
・連結散水　※施工しない　・施工する
・連結散水　一般配管　※施工しない　・施工する

・屋内消火栓種別　　※広範囲型２号消火栓　・易操作性１号消火栓　・１号消火栓　・２号消火栓

・屋外消火栓箱、ホース格納箱　　※鋼板製　・ステンレス鋼板製

ガス設備

・配管材料　　1）都市ガス　ガス事業者の供給規定による。
2）液化石油ガス　一般配管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）
地中埋設　※合成樹脂被覆鋼管　・ガス用ポリエチレン管

・ガスメーター　　1）親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
2）子メーター計量方式　（・実測式　・パルス式　）

・ガス漏れ警報器　　・本工事（取付け位置は図示による）　・別途工事
外部出力端子（・不要　・要）　警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は、別途工事とする。

・液化石油ガス充てん容器　　・１０kg　・２０kg　・５０kg　＿＿本　※借用　・買取り

・バルク貯槽　　・埋設　・横型　　最大充てん量　＿＿＿＿ｋｇ　・借用　※買取り

・容器廻りの配管　　※自動切替式　　施工方法は標準図（施工７２・（ａ）・（ｂ）・（Ｃ））とする。

・容器転倒防止　　施工方法は標準図（施工７３・（ａ）・（ｂ））とする。

・その他　　都市ガスはガス事業者の供給規定による。

雨水利用設備

・配管材料　　1）雑用水　一般配管　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）
土間配管　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）
屋外土中　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）
2）排水　一般配管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）
・配管用炭素鋼鋼管（白管）
地中埋設　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）
・配管用炭素鋼鋼管（白管）
3）その他　薬液注入配管は薬液注入設備の付属品とする。

・量水器　　※遠隔表示式（パルス式）　・現地表示式（直読式）

・弁類　　図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。

・量水器　　1）親メーター　※借用　・買取り　［・現地表示式（直読式）　・遠隔表示式（パルス式）］
2）子メーター　※賃取り　・借用　［・現地表示式（直読式）　・遠隔表示式（パルス式）］

・量水器桝　　1）親メーター用　※水道事業者の指定品　・標準図（機材５７）
2）子メーター用　※標準図（機材５７）　・水道事業者の指定品

●弁類　　1）図面に特記なき場合の耐圧は下記による。
公営水道に直結する配管に使用するものは、１０Ｋとする。
受水タンク以降の配管に使用するものは、５Ｋとする。
2）給水引込部の（・止水栓　・弁例）は水道事業者の指定品とする。

・定水位調整弁　・標準仕様書による（付属品含む）　・水道事業者指定品
・定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。

・緊急遮断弁装置　　屋外に設置する制御盤はステンレス製とする。

・水栓柱　　※合成樹脂製　・アルミニウム合金製　・ステンレス鋼製
・ステンレス鋼製ドーム形

・水栓　　1）屋外の水栓　・キー式ハンドル
2）台所流し用の水栓は泡沫式とする。

別表－１

機　材　等　名
ボイラー　鋼製ボイラー、鋼製簡易ボイラー、鋼製小型ボイラー、鋳鉄製ボイラー
温水発生機　真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）、無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）
冷凍機　チリングユニット（空気熱源ヒートポンプユニット含む）、遠心冷凍機、吸収冷温水機
吸収冷温水機ユニット
冷却塔　冷却塔
空気調和機　ユニット形空気調和機、コンパクト形空気調和機、ファンコイルユニット及び
カセット形ファンコイルユニット、パッケージ形空気調和機、
ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機　マルチパッケージ形空気調和機
空気清浄装置　エアフィルター（パネル形、折込み形）
自動巻取形エアフィルター、電気集じん器
全熱交換器　全熱交換器（回転形、静止形）
送風機　遠心送風機（多翼形送風機）、軸流送風機、斜流送風機、消音ボックス付送風機
ポンプ　横形遠心ポンプ、立形遠心ポンプ
水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用）
制気口及びダンパー　風量ユニット（定風量、変風量）
自動制御　自動制御システム
衛生器具　衛生器具ユニット
タンク　ＦＲＰ製パネルタンク、密閉形鋼鈑式膨張タンク（空調用・給湯用）
ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形・ボルト組立形）
消火装置　スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム
ハロゲン化物消火システム
厨房機器　厨房システム
鋳鉄製ふた　マンホールふた、弁桝ふた

補足説明事項等

記事	A2版：100%　A3版：71%縮小

工事名称	令和7年度町単独駕敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	日付	2026.03	No.	
図面名称	機械設備工事　特記仕様書	縮尺	1／NON	図面番号	M-01
設計		製図		校閲	
設計番号					

株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管　理　建　築　士
一級建築士　登録第284529号　　井藤　良文

区分	適用	記号	種別	備考
給水管	○	―― － ――	市水管	ただし、鋳鉄管の場合は ――
	○	―― － － ――	井水及び雑用水管	ただし、鋳鉄管の場合は ―― － － ――
	○			
	○			
給湯管	○	―― I ――	送り管	
	○	―― II ――	返り管	
	○	―― E ――	膨張管	
	●	―― O ――	油管	
	○			
排水管	○	――	排水管	ただし、鋳鉄管の場合は ―― ヒューム管の場合は ＝＝
	○	― ― ― ―	通気管	
	○	――▷	汚水管	
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
消火管	○	―― X ――	屋内及び屋外消火栓	ただし、鋳鉄管の場合は ―― X ――
	○	―― XS ――	連結送水管	
	○	―― XB ――	連結散水管	
	○	―― S ――	スプリンクラ消火管	
	○	―― HL ――	ハロゲン化物消火管	
	○	―― D ――	粉末消火管	
	○	―― F ――	泡消火管	
	○			
	○			
	○			
	○			
ガス管	○	―― G ――	都市ガス管	ただし、鋳鉄管の場合は ―― G ―― ガス配管のみを示す図面の場合はGを省略する。
	○	―― PG ――	液化石油ガス管	ガス配管のみを示す図面の場合はPGを省略する。
	○			
	○			
	○			
	●	―― R ――	冷媒配管	点線表示は既存を示す。
	○	―― D ――	ドレン管	点線表示は既存を示す。
	○	――◁	冷媒継手	
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			

区分	適用	記号	種別	備考
各設備	●		管の太さ及び種類	50 32 40 50Cv 40Cv 20Cv 管種記号は右記のとおりとする。
	●		管が接続していないとき	
	●		管が接続しているとき	
	○			
	●	立下り 素通し 立上り	立管	
	●	立上り 立下り		
	○			
	○			
	○		フランジ	特に継手を示す場合に用いる。
	○		ユニオン	同上
	●		チーズ	同上
	●		Y	特に継手を示す場合に用いる。
	●		90°エルボ	同上
	○		ベント	同上
	○		満水試験継手	
	○		プラグ	
	○			
	●		可撓継手	
	○		防振継手	
	○		ボールジョイント	
	○			
	○			
	○		管の固定箇所	
	○			
	○		スリーブ貫通	
	○		防火壁貫通	
	○		防水層貫通	
	○		はつり箇所（貫通）	
	○			
	○			
	●		埋設弁	
	●		仕切弁	特記なきものはGVとする。
	○	BV	バタフライ弁	
	○	SV	玉形弁	
	○		逆止弁	
	○		コック	
	○		安全弁及び逃し弁	

区分	適用	記号	種別	備考
配管設備	○	R	減圧装置	図はバイパス管付きを示す。
	○	T	温度調節装置	同上
	○	M 二方弁 M 三方弁	電動弁装置	同上
	○	SV	電磁弁装置	同上
	○	A	空気抜弁	
	○	P	圧力計	
	○	W	水高計	
	○	C	連成計	
	○	T	温度計	
	○	S	ストレーナ	
	○	F	瞬間流量計	
	○			
	○			
給水・給湯設備	○	M	量水器	
	○	（水） （湯） （混合）	水栓	
	○		洗浄弁	
	○		ボールタップ	
	○		シャワー	
	○		水抜栓	
	○		水栓柱	
	○			
	○			
	○			
排水設備	○		床上掃除口	
	○		床下掃除口	
	○		床排水トラップ	
	○		排水金物	
	○		間接排水金物	
	○		トラップ類	
	○			
	○			
水設備	○	T	トラップ桝	
	○		インバート桝	
	○		たわ桝	
	○		公共桝	
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			

区分	適用	記号	種別	備考
消火設備	○		屋内消火栓	屋内消火栓箱付き
	○		屋内消火栓（放水口共）	屋内消火栓箱付き
	○		連結送水管放水口	放水口格納箱付き
	○			放水用器具格納箱付き
	○	H	屋外消火栓（地上式）	屋外消火栓ホース格納箱付き
	○	H	屋外消火栓（組込形）	屋外消火栓箱付き
	○		送水口	
	○		放水口	
	○			
	○		制御盤	
	○		ポンペユニット	
	○		選択弁	
	○		アラーム弁及び親子弁	
	○	FD	流水検知器	
	○		直流電源装置	
	○		手動起動装置	
	○		復帰箱	
	○	M	モータサイレン	
	○		ピストンレリーザ	手動復帰
	○			遠隔復帰
	○		レリーザ操作管	
	○		スプリンクラー、泡及び連結散水ヘッド	
	○		ハロゲン化物及び粉末噴射ヘッド	隠ぺい形の場合は、
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
ガス設備	○		一口ガス栓	ゴム管口コックを含む。
	○	GM	ガスメータ	
	○		壁埋込ガス栓	
	○		ノックハンドルコック	
	○		水取器	
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			
	○			

材料仕様

配管材料

種別 ＼ JIS等の記号は標準仕様書による。	配管用炭素鋼鋼管（白） SGP(W)	配管用炭素鋼鋼管（黒） SGP(B)	水道用ステンレス鋼鋼管 SUS	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（白）（一） VL	銅および銅合金継目無管 CU	鉛管 L	水道用硬質塩化ビニル管 VW	硬質塩化ビニル管⇔一般管） VP	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HI	耐熱性硬質塩化ビニル管 HT	遠心力鉄筋コンクリート管 HP	耐火二層管 TMP	水道用内面硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA	水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	ポリエチレン管 水道用二層管	冷媒用被服銅管 保温厚20mm CU	備考
○ 給水管（引込部）																	
● 給水管									●								
○																	
○ 給湯管																	
○ 膨張管																	
● 油管		●															
○ 雑排水管																	
○ 汚水排水管																	
○ 通気管																	
○ 雨水管（屋内）																	
○ 屋外排水管																	
○																	
○ 消火管																	
○																	
○ ガス管																	
○																	
● 冷媒配管																●	
○ ドレン管																	
○																	
○																	
○																	
○																	
○																	
○																	

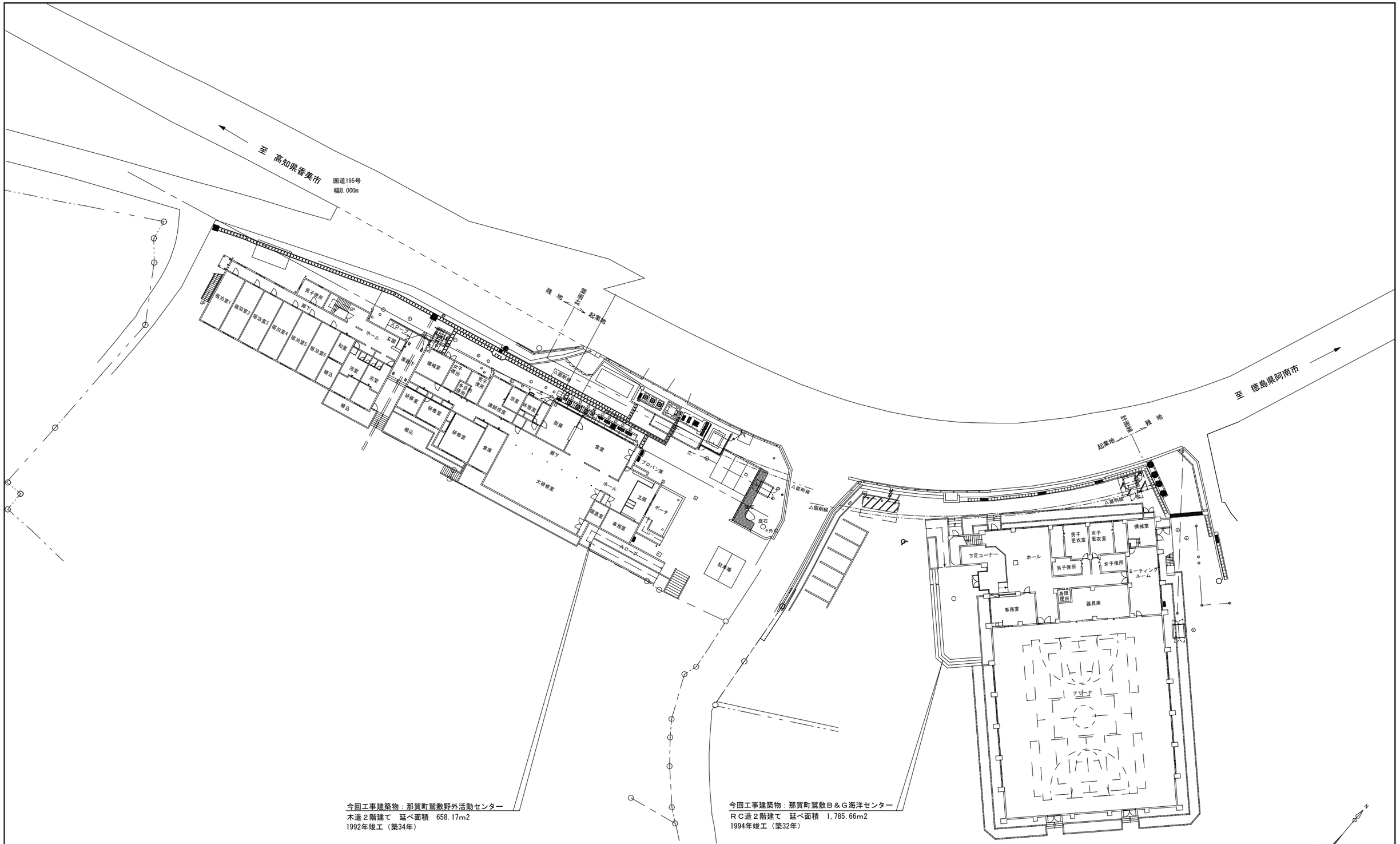
ダクト材料

種別 ＼ JIS等の記号は標準仕様書による。	亜鉛鉄板	着色亜鉛鉄板	ステンレス鋼板 SUS304	グラスウール	スパイラルダクト SUS304	保温材付フレキシブルダクト	保温材付フレキシブルダクト	ガルバリウム鋼板	配管用炭素鋼鋼管 SGP	硬質塩化ビニル管 VU							備考
○ 空調用給気ダクト																	
○ 空調用還気ダクト																	
○ 厨房用 給排気ダクト																	
○ 換気ダクト																	
○ 排煙ダクト																	
○ 煙道																	
○																	
○																	
○																	
○																	
○																	
○																	

記事	A2版：100%　A3版：71%縮小

工事名称	令和7年度町単独鷲敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	日付	No.	図面番号	設計番号
		2026.03		M-02	
図面名称	機械設備工事　凡例	縮尺	設計	製図	校閲
		1／NON			

株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管理建築士
一級建築士　登録第284529号　井藤　良文



今回工事建築物：那賀町鷲敷野外活動センター
木造２階建て　延べ面積　658.17m2
1992年竣工（築34年）

今回工事建築物：那賀町鷲敷Ｂ＆Ｇ海洋センター
ＲＣ造２階建て　延べ面積　1,785.66m2
1994年竣工（築32年）

全体配置図　S＝1/400

記事

A2版：100%　A3版：71%縮小

工事名称 令和7年度町単独鷲敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	日付 2026.03	No.	図面番号 E-03	設計番号	
図面名称 機械設備工事　全体配置図	縮尺 1/400	設計	製図	校閲	

株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管理建築士
一級建築士　登録第284529号　井藤　良文

機器表

記　号	名　称	付　属　品　及　び　備　考	設置場所	数 量
㊾	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　床置形　シングル	大研修室	1
(AC3-1)	(室外機)	冷房能力　２０．０ｋＷ　暖房能力　２２．５ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RCR-AP224HV1（R410A）		
㊿	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　床置形　シングル	大研修室	1
(AC3-1)	(室外機)	冷房能力　２０．０ｋＷ　暖房能力　２２．５ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RCR-AP224HV1（R410A）		
(51)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式	食堂	1
(AC3-2)	(室外機)	冷房能力　２０．０ｋＷ　暖房能力　２２．５ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		DAIKIN　RYAP280A（R410A）		
(52)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　床置形　シングル	大研修室	1
(AC3-2)	(室外機)	冷房能力　２０．０ｋＷ　暖房能力　２２．５ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RCR-AP280HVG（R410A）		
(53)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式	事務室	1
(—)	(室外機)	冷房能力　５．６ｋＷ　暖房能力　６．３ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		撤去		
(54)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　ビルマル	研修室	1
(AC-4)	(室外機)	冷房能力　２２．４ｋＷ　暖房能力　２５．０ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RAS-AP224DGR3（R410A）		
(55)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　ビルマル	宿泊棟 1F	1
(AC-7)	(室外機)	冷房能力　２８．０ｋＷ　暖房能力　３１．５ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RAS-AP280DGR3（R410A）		

記　号	名　称	付　属　品　及　び　備　考	設置場所	数 量
(56)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　ビルマル	宿泊棟 2F	1
(AC-8)	(室外機)	冷房能力　３３．５ｋＷ　暖房能力　３７．５ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RAS-AP335DGR3（R410A）		
(57)	パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式　天井カセット形４方向　シングル	講師控室	1
(AC-5)	(室外機)	冷房能力　３．６ｋＷ　暖房能力　４．０ｋＷ		
		電源　３φ２００Ｖ		
		取外し再取付（再利用）		
		HITACHI　RAS-AP40GH3（R410A）		
(58)	オイルタンク	屋外地上設置　外寸法：1000×1000×1500H	屋外	1
	(新設)	架台 500H（タンク、架台、溶融亜鉛メッキ仕上げ）		
		呼称容量：1500L　貯蔵燃料：Ａ重油		
		側圧式油面計　給油口　レベルセンサ(発信部)		
		通気金物　転倒防止金具　各表示板　付属品共		
		遠隔油面計は、既設品流用（事務室に設置）		
		（細部は詳細図参照）		
(58)	オイルタンク	屋外地上設置　SS-41　外寸法：1200×1200×1500H×4.5t	屋外	1
	(撤去)	架台 500H（タンク、架台、溶融亜鉛メッキ仕上げ）		
		呼称容量：2160L　実容量：1900L　貯蔵燃料：Ａ重油		

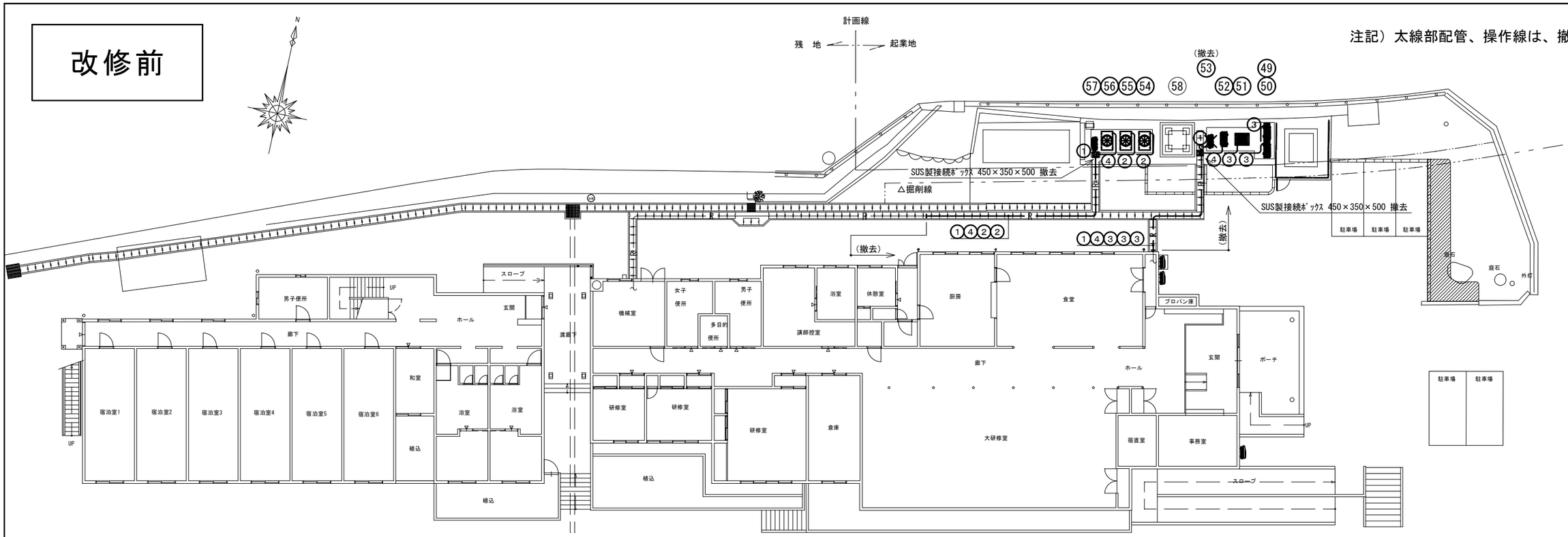
記事　A2版：100%　A3版：71%縮小

工事名称	日付	No.	図面番号	設計番号	
令和7年度町単独鷲敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	2026.03		M-04		
図面名称	縮尺	設計	製図	校閲	
機械設備工事　機器表　改修前後	1/NON				

株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管　理　建　築　士
一級建築士　登録第284529号　井藤　良文

改修前

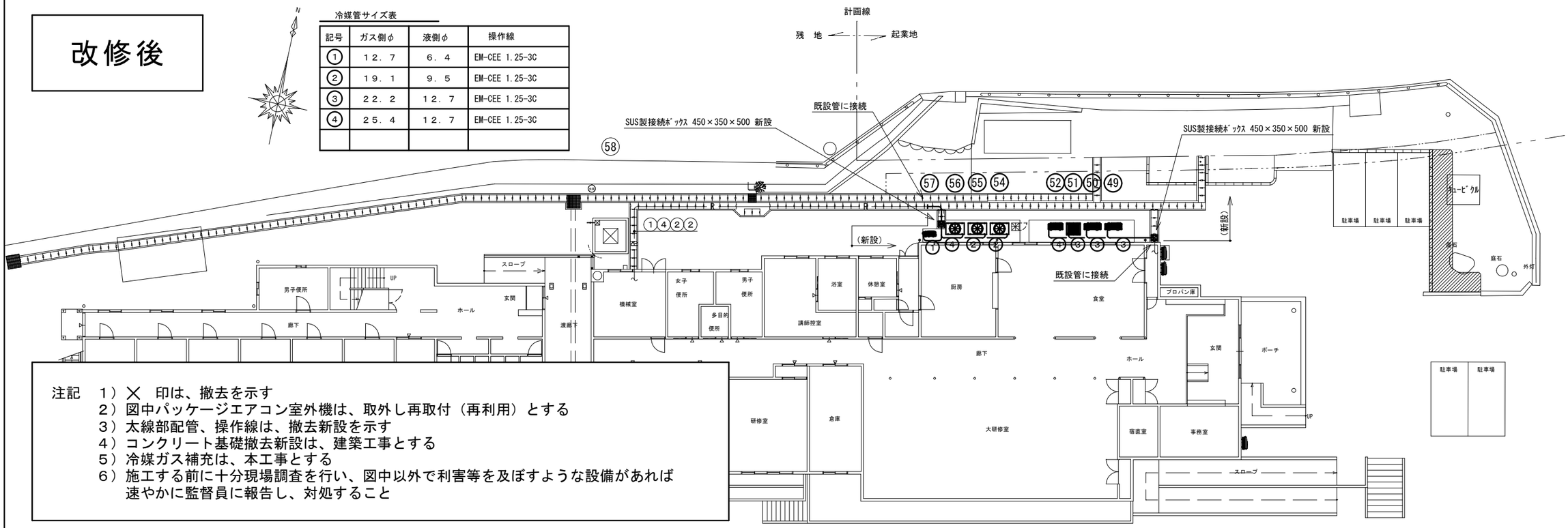
注記）太線部配管、操作線は、撤去を示す



改修後

冷媒管サイズ表

記号	ガス側φ	液側φ	操作線
①	１２．７	６．４	EM-CEE 1.25-3C
②	１９．１	９．５	EM-CEE 1.25-3C
③	２２．２	１２．７	EM-CEE 1.25-3C
④	２５．４	１２．７	EM-CEE 1.25-3C



注記　１）×　印は、撤去を示す
　　２）図中パッケージエアコン室外機は、取外し再取付（再利用）とする
　　３）太線部配管、操作線は、撤去新設を示す
　　４）コンクリート基礎撤去新設は、建築工事とする
　　５）冷媒ガス補充は、本工事とする
　　６）施工する前に十分現場調査を行い、図中以外で利害等を及ぼすような設備があれば
　　速やかに監督員に報告し、対処すること

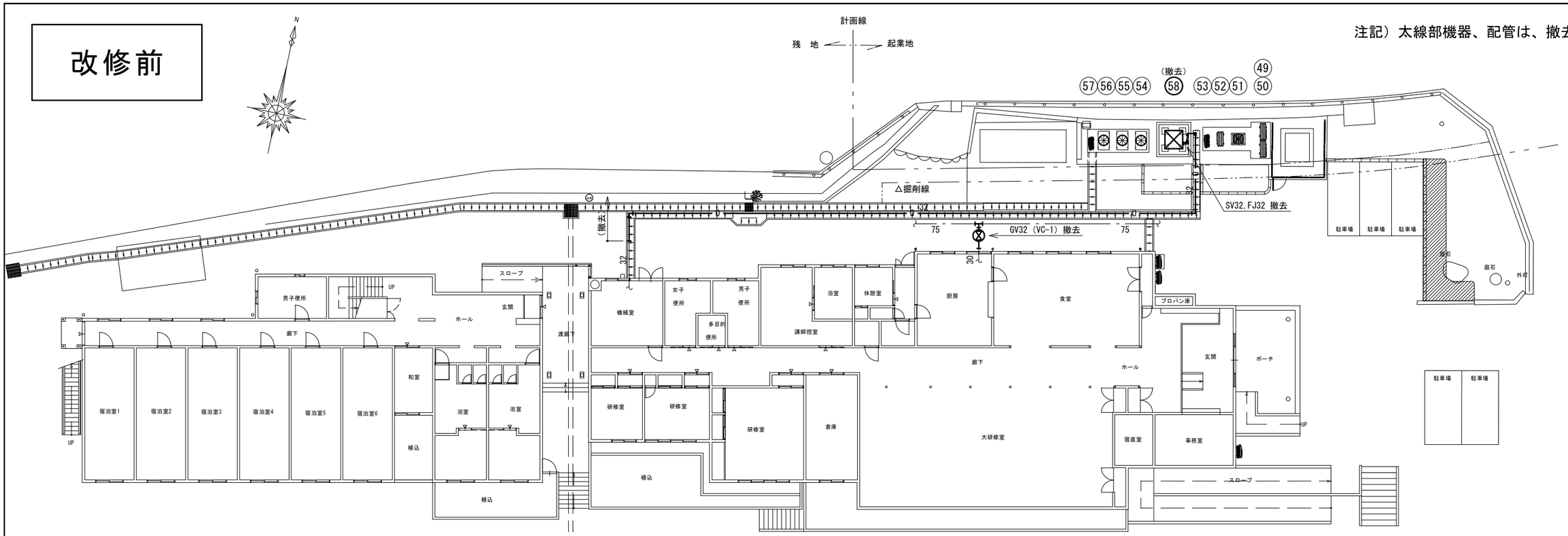
記事　A2版：100%　A3版：71%縮小

工事名称	令和7年度町単独鷲敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	日付	No.	図面番号	設計番号
		2026.03		M-05	
図面名称	那賀町鷲敷野外活動センター 冷暖房設備　平面図　改修前後	縮尺	設計	製図	校閲
		1/200			

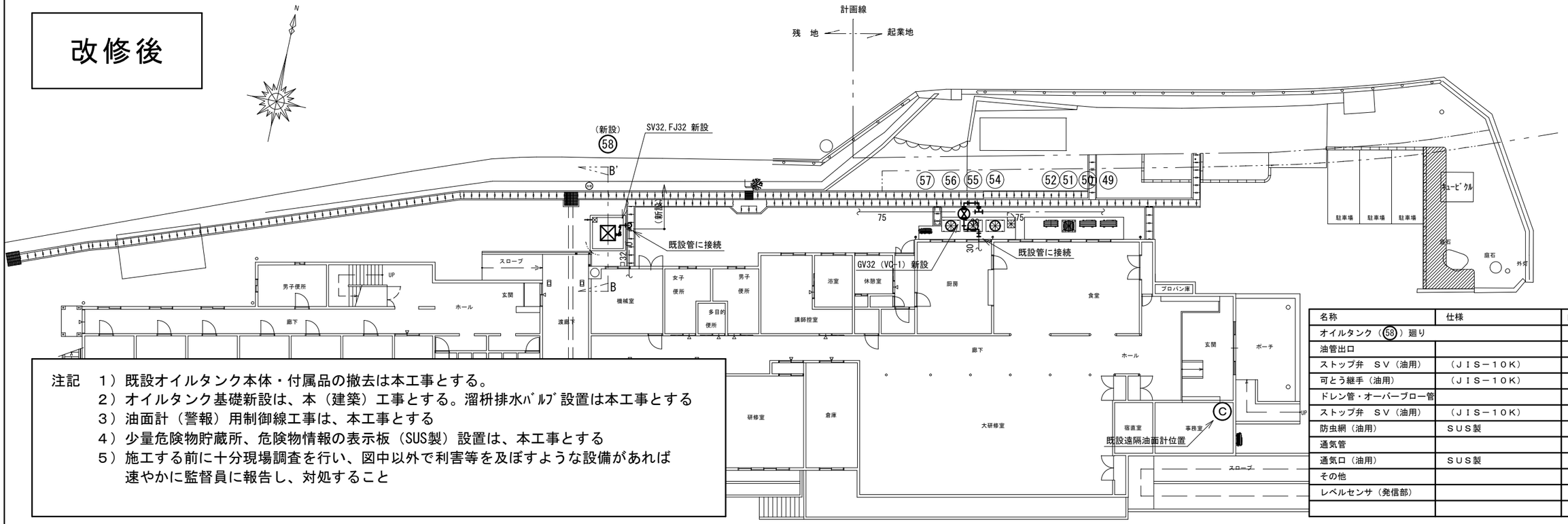
株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管　理　建　築　士
一級建築士　登録第284529号　　井藤　良文

改修前

注記）太線部機器、配管は、撤去を示す



改修後



名称	仕様	口径	数
オイルタンク（58）廻り			
油管出口			
ストップ弁　ＳＶ（油用）	（ＪＩＳ－１０Ｋ）	３２Ａ	1
可とう継手（油用）	（ＪＩＳ－１０Ｋ）	３２Ａ	1
ドレン管・オーバーブロー管			
ストップ弁　ＳＶ（油用）	（ＪＩＳ－１０Ｋ）	３２Ａ	1
防虫網（油用）	ＳＵＳ製	４０Ａ	1
通気管			
通気口（油用）	ＳＵＳ製	４０Ａ	1
その他			
レベルセンサ（発信部）			1

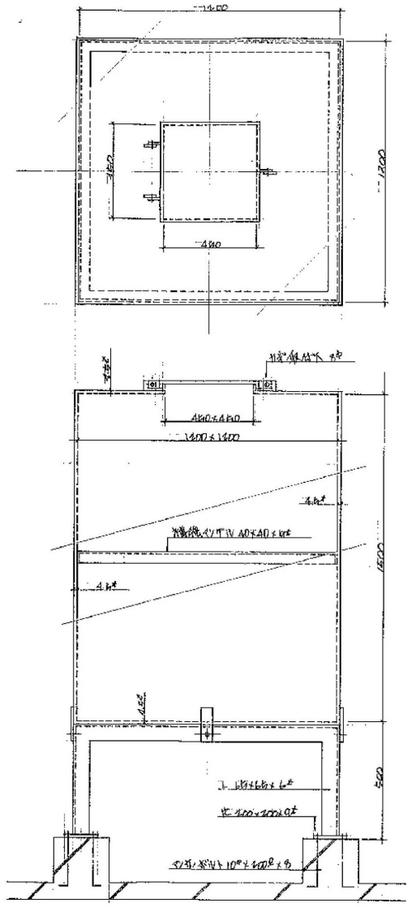
注記　１）既設オイルタンク本体・付属品の撤去は本工事とする。
２）オイルタンク基礎新設は、本（建築）工事とする。溜枡排水ﾊﾞﾙﾌﾞ設置は本工事とする
３）油面計（警報）用制御線工事は、本工事とする
４）少量危険物貯蔵所、危険物情報の表示板（SUS製）設置は、本工事とする
５）施工する前に十分現場調査を行い、図中以外で利害等を及ぼすような設備があれば速やかに監督員に報告し、対処すること

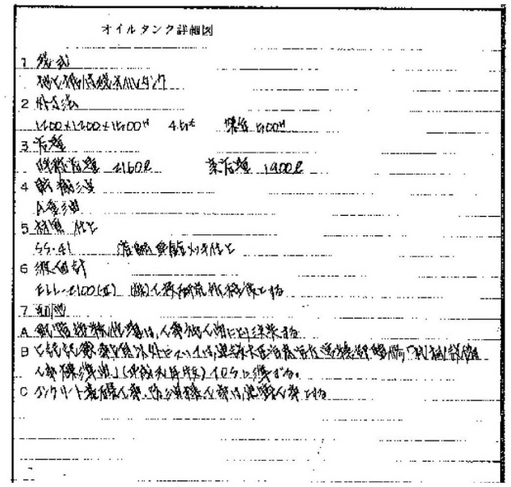
記事：A2版：100%　A3版：71%縮小

工事名称	令和7年度町単独鷲敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	日付	No.	図面番号	設計番号
		2026.03		M-06	
図面名称	那賀町鷲敷野外活動センター 給排水衛生設備　平面図　改修前後	縮尺 1/200	設計	製図	校閲

株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管理建築士
一級建築士　登録第284529号　井藤　良文

撤去

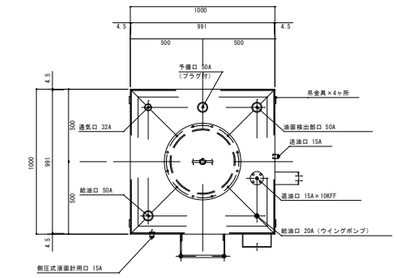


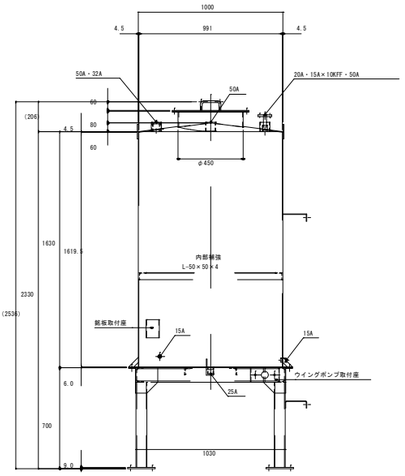


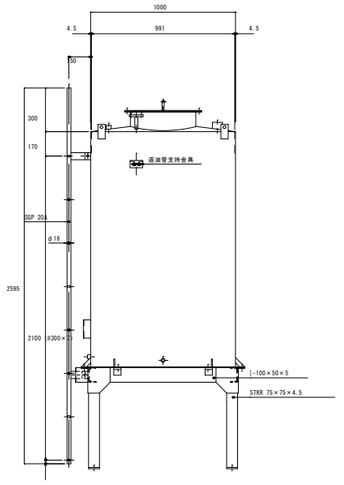
既設ｵｲﾙﾀﾝｸ　　S＝1／20

（撤去）

新設





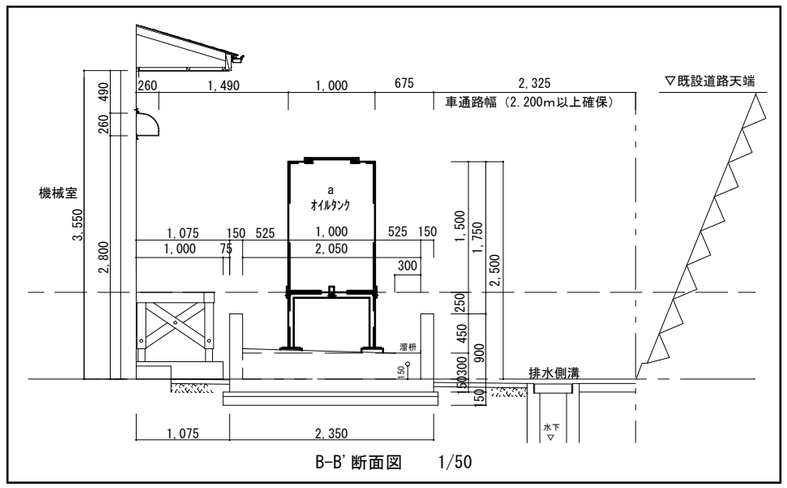


仕　　様	
タンク寸法	1000×1000×1630（外間寸法）
タンク材質・板厚	鋼板　（SS400） 天板 4.5t・側板 4.5t・底板 6.0t
タンク仕上げ	外面　錆止塗装2回後 仕上色塗装2回（景観色（19-20B）：金ツヤ）
架　台	高さ H=700 [-100×50×5　STKR 75×75×4.5
架台仕上げ	錆止塗装2回後 仕上色塗装2回（景観色（19-20B）：金ツヤ）
重　量	タンク　420kg　架台　100kg
設計用水平震度	kh=1.5
タンク容量	1,500リットル
タンク内容積	9.91×9.91×16.21=1,591.9
空間容量	1,061.1×0.05773=91.9　（5.773%）
タンク内容量	1591.9-91.9=1500
油　種	軽油
配管取り出し口	外形図記載の取り出し口は参考とし、位置や口径
	接続口の種別は設置状況により検討すること。

付　属　品	
側圧式液面計	WS-90型（屋外型）　1個
給油口金具	CP-50AS　1個
通気口金具	AV-32A　1個
ウイングポンプ	NO.1-20AP　1台
標識	SUS製標識併付塗装×1枚（少量危険物） SUS製標識併付塗装×1枚（危険物情報）

新設ｵｲﾙﾀﾝｸ　　S＝1／30

（新設）



B-B'断面図　1/50

記事	A2版：100%　A3版：71%縮小		工事名称	令和7年度町単独鷲敷野外活動センターほか電気設備等移設工事	日付 2026.03	No.
			図面名称	那賀町鷲敷野外活動センター ｵｲﾙﾀﾝｸ　詳細図　改修前後	縮尺 1／20 30 50	設計

図面番号	設計番号
M-07	
製図	校閲

株式会社 四電技術コンサルタント
一級建築士事務所　徳島県　登録第21013号
管　理　建　築　士
一級建築士　登録第284529号　　井藤　良文